

# 中間決算のご報告

## Financial Section

ここがポイント！



**現金及び預金** ▶ 706億円となり前期末(平成16年3月末)から130億円取り崩しました。

**たな卸資産** ▶ 1,807億円となり、前期末比68億円増加しました。

**有形固定資産** ▶ 2,258億円となり、前期末比56億円増加しました。

材料研究棟(八王子)の建設と情報機器、オプト事業の生産増強のための設備投資等を行ったことによりです。

**有利子負債** ▶ 2,664億円となり、これまでに引き続き、前期末比さらに16億円削減しました。

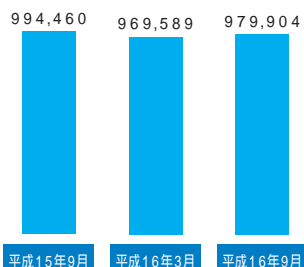
**株主資本** ▶ 主として、中間純利益の計上による利益剰余金の増加により3,429億円となり、株主資本比率は35.0%となりました。

### 連結貸借対照表(要約)

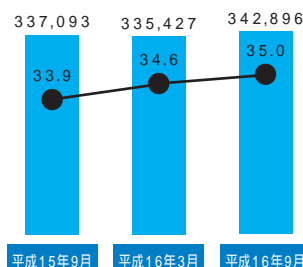
(単位: 百万円、未満切捨)

	当中間期 平成16年9月30日	前期 平成16年3月31日
現金及び預金	70,622	83,574
受取手形及び売掛金	236,688	223,032
たな卸資産	180,721	173,949
その他	62,937	55,213
流動資産合計	550,969	535,769
有形固定資産	225,763	220,204
無形固定資産	117,626	120,204
投資その他の資産	85,545	93,411
固定資産合計	428,935	433,820
資産合計	979,904	969,589
支払手形及び買掛金	143,961	141,783
有利子負債	266,388	267,951
その他	225,445	223,184
負債合計	635,795	632,919
少数株主持分	1,213	1,242
資本合計	342,896	335,427
負債・少数株主持分及び資本合計	979,904	969,589

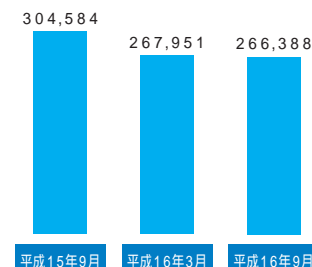
### 総資産 (単位: 百万円)



### 株主資本・株主資本比率 (単位: 百万円、%)



### 有利子負債 (単位: 百万円)



## 連結損益計算書

(単位: 百万円、未満切捨) **ここがポイント!**

	当中間期 平成16年4月1日～ 平成16年9月30日	前中間期* 平成15年4月1日～ 平成15年9月30日
売上高	535,115	541,600
売上原価	300,469	298,453
売上総利益	234,646	243,146
販売費及び一般管理費	202,121	203,134
営業利益	32,524	40,012
営業外収益	7,503	6,554
営業外費用	11,861	18,122
経常利益	28,166	28,444
特別利益	301	1,332
特別損失	5,220	4,887
税金等調整前中間純利益	23,247	24,889
法人税等	15,023	9,496
少数株主利益	23	218
中間純利益	8,200	15,174

実質ベース(前中間期のコニカとミノルタ両社間の取り引きによる膨らみ分、為替影響などの諸要因を除いたもの)では55億円の増収とみています。

為替による目減り分や経営統合により発生したのれん代の償却費用、統合に伴う費用発生を考慮すると実質ベースでは営業利益はほぼ前年並み、経常利益は15億円ほどの増益となったものとみています。

経営統合に伴う合理化費用を特別損失として27億円計上したことなどに加え、フォトイメージング事業で赤字計上したことにより税効果をみることができず、法人税が増加しました。その影響で実質ベースでも約33億円の減益となったものとみています。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円、未満切捨)

	当中間期 平成16年4月1日～ 平成16年9月30日	前中間期* 平成15年4月1日～ 平成15年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,543	38,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,325	11,926
+ フリー・キャッシュ・フロー	4,782	26,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,278	22,854
現金及び現金同等物に係る換算差額	859	135
現金及び現金同等物の増減額	13,199	3,430
現金及び現金同等物の期首残高	83,704	85,245
新規連結による現金及び現金同等物の増加額	447	843
現金及び現金同等物の中間期末残高	70,951	89,518

運転資本と法人税等の支払いの増加により、営業活動によるキャッシュ・フローは225億円にとどまりました。

情報機器事業とオプト事業の生産増強のための設備投資等を行い、投資活動によるキャッシュ・フローは273億円のマイナスとなりました。

社債の償還を中心に有利子負債の削減を行い、財務活動によるキャッシュ・フローは93億円のマイナスとなりました。

\* 前中間期は旧コニカと旧ミノルタの合算値であり、連結消却処理は行っていません。